

# 個別注記表

2025年4月1日から  
2026年3月31日まで

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法によっている。

ただし、1998年4月1日以後に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっている。

### (2) 引当金の計上基準

(イ) 貸倒引当金..... 金銭債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(ロ) 退職給付引当金..... 従業員の退職給付に備えるため、退職金規程に基づく期末自己都合要支給額の100%を計上している。

(ハ) 役員退任慰労引当金... 役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額の100%を計上している。

### (3) 収益及び費用の計上基準

当社の主要な事業は、北陸電力グループを対象としたシェアードサービス提供業務であり、契約に基づき履行義務を負っている。当該契約は、一定の期間にわたり履行義務を充足する取引であり、履行義務の充足の進捗度に応じて収益を認識している。

## 2. 会計上の見積りに関する注記

会計上の見積りにより当期の計算書類にその額を計上した項目であって、翌期の計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりである。

短期貸付金	8,224,000千円
長期貸付金	17,389,158千円

貸付金の回収可能性の判断については、貸付先の財政状態等のほか、事業計画、親会社の支援方針に基づいて検討している。事業計画、親会社の支援方針の見直し等により、翌期の計算書類において貸付金に対する貸倒引当金の計上による損失が発生する可能性がある。

## 3. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 10,309千円

### (2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

(イ) 短期金銭債権 3,065,095千円

(ロ) 短期金銭債務 20,392千円

### (3) 保証債務

住宅等購入者の金融機関からの融資に対して次の通り債務保証を行っております。

親会社の従業員の住宅借入に対する保証債務 3,863,979千円

## 4. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との営業取引高 429,864千円

(2) 関係会社との営業取引以外の取引高 14,175千円

## 5. 株主資本等変動計算書に関する注記

- (1) 当事業年度の末日における発行済株式の数 普通株式 200株
- (2) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項  
2025年6月27日 定時株主総会決議
- |               |            |
|---------------|------------|
| (イ) 配当金の総額    | 8,552千円    |
| (ロ) 配当の原資     | 利益剰余金      |
| (ハ) 1株当たりの配当額 | 42,764円    |
| (ニ) 基準日       | 2025年3月31日 |
| (ホ) 効力発生日     | 2025年7月31日 |
- (3) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの  
2026年6月開催予定の定時株主総会において決議予定
- |               |            |
|---------------|------------|
| (イ) 配当金の総額    | 13,385千円   |
| (ロ) 配当の原資     | 利益剰余金      |
| (ハ) 1株当たりの配当額 | 66,929円    |
| (ニ) 基準日       | 2026年3月31日 |
| (ホ) 効力発生日     | 2026年7月31日 |

## 6. 税効果会計に関する注記

- (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳
- |             |           |
|-------------|-----------|
| 繰延税金資産      |           |
| 退職給付引当金     | 36,619千円  |
| 賞与引当金       | 16,987千円  |
| その他         | 10,978千円  |
| <hr/>       |           |
| 繰延税金資産合計    | 64,584千円  |
| 繰延税金負債      |           |
| 為替差益        | 187,429千円 |
| <hr/>       |           |
| 繰延税金負債合計    | 187,429千円 |
| <hr/>       |           |
| 差引:繰延税金負債純額 | 122,844千円 |

- (2) 法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理

当社は、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っている。

## 7. 金融商品に関する注記

### (1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、グループファイナンス会社として、関係会社向け貸付金を有しているが、それ以外の通常の資金運用については、短期的な預金等に限定している。資金調達については、北陸電力グループキャッシュ・マネジメント・システムにより、親会社である北陸電力(株)及び関係会社から余剰資金を受け入れている。借入金の使途は、関係会社向けの貸付である。

### (2) 金融商品の時価等に関する事項

2026年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。なお、現金は注記を省略しており、預金及び売掛金、短期貸付金、買掛金、短期借入金、未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略している。

(単位:千円)

区分	貸借対照表計上額	時価	差額
長期貸付金	17,389,158	14,877,991	△2,511,166

### (3) 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類している。

- ・レベル1の時価:同一の資産又は負債の活発な市場における(無調整の)相場価格により算定した時価
- ・レベル2の時価:レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価
- ・レベル3の時価:重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類している。

①時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債  
該当なし。

②時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

(単位:千円)

区分	時価			合計
	レベル1	レベル2	レベル3	
長期貸付金	—	14,877,991	—	14,877,991

(注)時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

#### ・長期貸付金

長期貸付金の時価について、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映するため、貸付先の信用状態が実行後大きく異なっていない場合は時価と帳簿価格が近似していることから、帳簿価額を時価としている。また、外貨建て貸付金については、返済計画に従って、その将来キャッシュフローと外貨建てで同様の新規貸付を行った場合に想定される利率で割り引いて算定している。

当社が保有している貸付金は、市場での取引頻度が低く、活発な市場とはみなされないため、その時価をレベル2の時価に分類している。

## 8. 関連当事者との取引に関する注記

(単位:千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(注2)	科目	期末残高(注2)
親会社	北陸電力株式会社	被所有 直接 100%	シェアード サービス等の提供 役員の兼任	業務受託 (注1)	453,956	売掛金	65,095

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 業務受託料金については総括原価によって決定している。

(注2) 取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれている。

## 9. 1株当たり情報に関する注記

- |                |               |
|----------------|---------------|
| (1) 一株当たり純資産額  | 2,955,095円01銭 |
| (2) 一株当たり当期純利益 | 1,865,887円78銭 |